

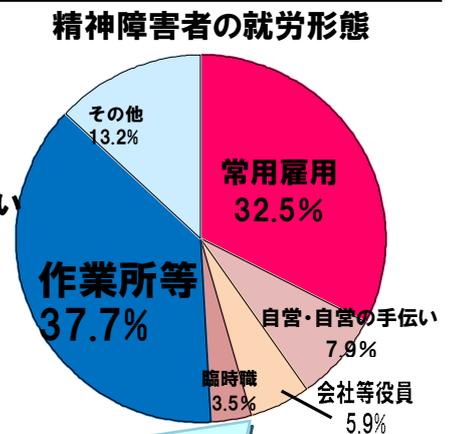
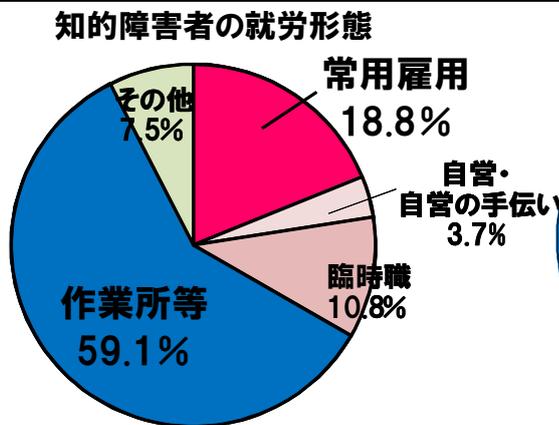
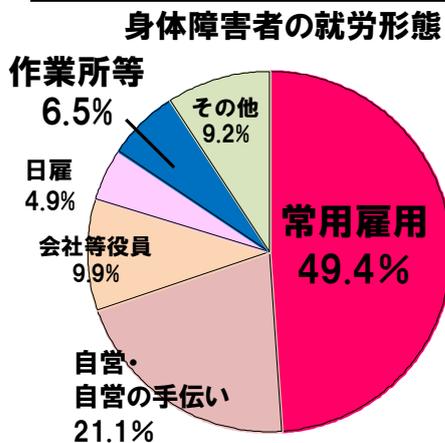
神原インターンの つながる通信

Be Positive!!

発行 インターン9期生
2011年10月1日

障害者の厳しい社会参加への壁

日本の障害者数は約744万人で、全人口の5.8%を占めています。これはつまり日本人の約17人に1人は何らかの障害を持っているということです。しかし、その中で働いている人の割合は0.6%で、日本全体の就業率(56.3%)とは大きくかけ離れています。



障害別で就労形態を比べると、身体障害のある人は常用雇用されている割合が多い一方で、知的・精神障害のある人は作業所の占める割合が高いのです。作業所というのは、障害者の方だけで内職のような仕事をするところ。でも、それって社会との関わりが薄いつつこと？
そう思って、私たちは知的・精神障害のある方の一般就労について調べました。
そこで分かった事は、一般就労できない理由の一つとして企業側に「どんな仕事ができるか分からない」という不安があることです。
そこで、実は身近にもできる仕事はあると伝えようと勉強会を開きました。

* 障害者の就労についての勉強会を開きました！



知的・精神障害の方でも出来る仕事がないか、参加者みんなでアイデアを出し合いました。

<知的障害者に出来そうな仕事>

- ・街路樹剪定
- ・皿洗い
- ・ベッドメイキング など

<精神障害者に出来そうな仕事>

- ・農業
- ・データ入力
- ・ナレーター など

インターン活動を通して感じたこと



神原インターン 9期生

同志社大学 社会学部 大路和子

私はこの2か月間毎日が本当に充実していて、インターンシップに参加して良かったと思いました。その中でも私が1番感じた事は“自分から行動する”という事の大切さです。

初めの頃は神原さんに頼って行きたい場所に予約を取ってもらっていましたが、「自分でやってみ」という一言をきっかけに大きく変わりました。実際自分で電話をして交渉しても断られる事がありました。しかし、自分から行動すると違った世界を見ることができるという事も経験しました。そして、行動する事は自分が成長する為には必要な事だと痛感しました。この経験を通して感じたものは、2か月中だけの事で終わらすのではなく、これからの自分に繋げていきたいと思っています。

関西大学 社会学部社会学科 大谷智美

狭い自分の視野を広げたいと思って参加したこのインターンシップ。

2か月間で神原議員をはじめ色々な方と出会い、色々なことを知りました。

政治って自分が思っていたよりも身近な存在であること、議員って案外普通の人であるということ……。自分が政治に対して感じていた壁が低くなりました。このインターン活動のおかげで、テレビやネットで言われていることだけを知って満足するのではなく、実際に自分の目で見る事の大切さを知りました。メディアを通してだと、伝わりきれないことがたくさんあります。

今年の夏休みは忙しかったけれど本当に充実していました。

違う学校のメンバーと一緒に本気で取り組んだこの夏休みを絶対に忘れません。

大阪大学 人間科学部 横山春香

今回インターンシップに参加したきっかけは、大学でもらったビラでした。初めは、議員インターンシップって何？と思っていたのに、今ではもうインターンシップも残りわずかです。

振り返るとこの2か月間、毎日色々なことをしました。議会・委員会傍聴だけでなく、朝から通信を配って街頭演説したり、自分たちで勉強会を主催したり、時にはヒアリングや施設訪問を行ったり、講演会に参加したり。勉強会は自分たちが主体となって取り組みました。

また、神原議員の後ろについているうちに、議員の活動がどんなものか、政治が実際どんなふうになっているのか体験することができました。

あっという間に終わった、しかし充実した夏休みでした。2か月間ありがとうございました。

～身近な障害者就労～

皆さんは、阪急豊中駅構内に、「なかま」という販売所があるのをご存知でしょうか？いくつかの作業所が交代で店番し、作業所で作った製品や、バザー品を販売しています。

また、2012年に稼働予定のリサイクルセンターのごみの分別ラインで知的障害のある方が働く予定になっています。皆さんの身の回りにも、障害のある方と関わっていることがあるのです。



**2か月間ありがとうございました！
この経験を活かしながら、今後も頑張ります！**

